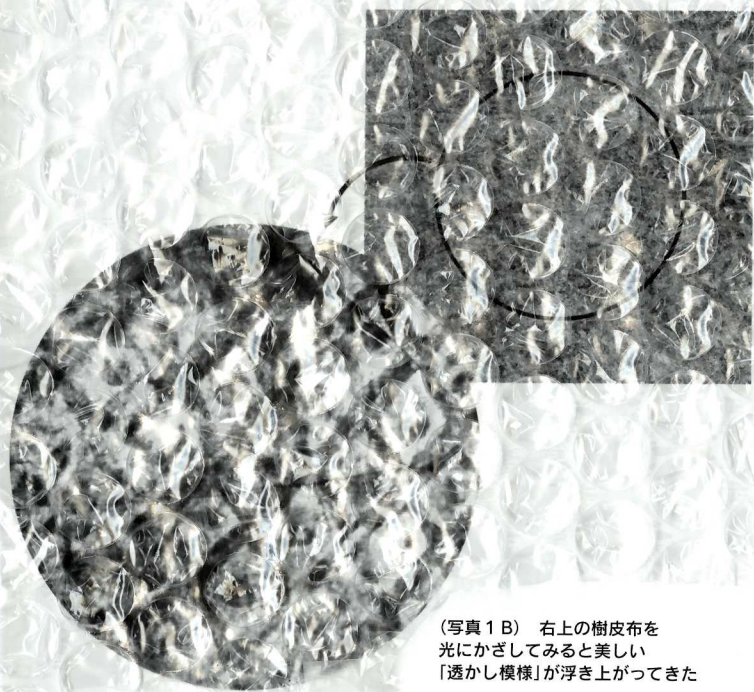




(写真1 A) 自然光で見た無地で地味なハワイの樹皮布



(写真1 B) 右上の樹皮布を光にかざしてみると美しい「透かし模様」が浮かび上がってきた

モノグラフ

博物館のモノを透かして見ると

坂本 勇(さかもと いさむ)

駿河台大学非常勤講師

文書修復家は、素材の特徴や歴史を五感を使って探求し、修復作業に活用していく習性がある。「透かし模様 (watermark) の入った紙」という観点から樹皮紙を追ってきたわたしであるが、民博所蔵の標本資料のなかでも面白い発見をした。それはハワイの樹皮布タパ (tapa) である(写真1 A)。これは、無地の地味な作品と見られてきたものだが、修復家が日常的に使う透過光で「透かして見る」と、何と樹皮布に美しい「透かし模様」

が加工されていたのである(写真1 B)。よく調べて見ると、この一括コレクションに二五点のすべてに繊細な透かし模様が見つかった。この樹皮布の標本資料データには「ハワイの Mauna Kea 又は Mauna Loa の海拔九〇〇〇フィートの埋葬洞窟で発見」という記載があり、更なる探究心を掻き立てる。お宝の再発見だ。

紙幣に見られるような「透かし模様」は、普段は気づかないが、光にかざしてみれば初めて見える特質がある。古代から、人びとはなぜ普段は見えない「透かし模様」という高度な技術と道具を生み出し、使い続けてきたのだろうか？ 樹皮布や樹皮紙に「透かし模様」を加工する道具が発見されているのは、今のところ世界でインドネシア・スラウエシ、メソ・アメリカ、そしてハワイの三つの地域だけである。スラウエシでは「透かし模様」のある樹皮布がシャーマン用の帽子などに使われた記録があるから、特別の階級の人びとや儀式用に生み出されたものかもしれないが、詳細は不明である。三つの地域それぞれに、ナゾの歴史を秘めているのだ。

世界的に見て、樹皮布文化が新石器時代からの姿でもっともよく残っているのが、インドネシア・スラウエシ島。その地で二〇〇八年八月、筆者がプロジェクト責任者となり実施した日本・



(写真2) 「透かし」用の石製ピーターをもつスラウエシの老婆



(写真3) 100年前に報告されたスラウエシの石製ピーター模様

ワヤンベールに代表される美しい樹皮紙 (galuwang) 文化へ転移したことが考えられる。

インドネシア合同のフィールド調査では、画期的な発見があった。現在も樹皮布に「透かし模様」を加工する石製ピーター (ke Tanah) を使っている老婆を見つけたのである(写真2)。一〇〇年前にオランダ民族学者により報告されたピーターにある模様とそっくりだ(写真3)。ピーターとは樹皮を叩いて薄くのはず道具である。この地域では同時に透かし模様を入れるにも使われている。

これまでの調査によって、スラウエシの樹皮布製作技術は、今から三五〇〇年以上前にオーストロネシア語族の人びとが携えて来た、と考えられている。その技術は、オーストロネシアンの源流地域と比べ飛躍的に高度となっており、いつの時期かジャワ島を中心とした、

他方、メソ・アメリカ地域では、これまでの先人達の考古学、民族学調査研究でも、「透かし模様」加工用と思われる石製ピーターがたった一件報告されているのみだ(写真4)。しかし、これは研究者の「見落とし」かもしれない。というのは、先日アメリカの友人から紀元六〇〇、一五〇〇年ごろのものと思われる石製ピーターを見せてもらったときのこと、これまでの専門家は表面のユニークな顔の彫物だけに注目していたのだが、「写真5」、修復家が、そのピーターの裏面に斜光線当てた途端、ハワイの樹皮布に伝統的に使われてきた「透かし模様」 Upeia Pupu に酷似した刻面が浮かび

上がったのである(写真6)。

マヤ、アステカを含むメソ・アメリカにおける樹皮紙についても、高度な「透かし」技術使用の可能性やスペイン征服直後のアマテ文書を見ると、これらが「原始的な紙」であるという先入観の再考を促す。彼の地でのピーターは紀元前四〇〇〜三〇〇年ごろかそれ以前の地層から発見されているようなので、ピーターの発展経緯から考え、中国などでの「樹皮紙使用痕跡」の探索が必要であり、それ次第では「紙の発明」場所と時期に関する現在の定説を覆す可能性もある。

すでに、素材植物カジノキのDNA分析、石器ピーターの比較検証など、あらゆる科学的調査・分析技術を駆使して物質を研究することが必要となってきた。必要なのはなかるうか？ 二〇〇九年は、そのような新しいチャレンジの年になることを期待している。「樹皮紙 (Beaten Bark Paper) の埋もれた歴史」という一文を『百万塔』(東京、紙の博物館発行) 第一三〇号に掲載している。知られざる世界を学ぶために一読いただければ幸いである。



(写真6) 写真5のピーター反対面の模様刻面



(写真4) 50年前に報告されたメソ・アメリカの石製ピーター模様



(写真5) メソ・アメリカ出土の石製ピーターのトップ面